

京都府高等学校体育連盟主催事業における 新型コロナウイルス感染予防対策【専門部ルール】

専門部名： 体 操 専門部

策定日： 令和 3 年 4 月 26 日

1、大会開催の専門部独自条件について

- ・ 国による緊急事態宣言が発出された場合、主催大会は原則中止する。
- ・ 参加者や開催地の感染状況により、感染拡大の可能性がある場合、大会は中止する。
- ・ 以上の理由以外でも、各専門部独自の判断により、大会を中止する場合がある。

2、大会参加条件について

- ・ 発熱等の風邪症状があれば参加不可とする。（原則37.5℃以上は参加自粛）
- ・ 参加者が所属する学校・学級・部活動が、感染症のため臨時休業中の場合は参加不可とする。
- ・ 保健所により濃厚接触者と特定されるなど、感染拡大の可能性がある場合は参加不可とする。
- ・ 自身が体調不良と感じた場合、また感染者やその疑いのある者との濃厚接触が疑われる場合は速やかに参加中止を判断し主催者に連絡する。

3、大会当日の検温における発熱者確認時の対応

- ・ 当日、起床時に検温し37.5℃以上の発熱があれば入場できない。
- ・ 会場に来場する大会関係者及び全ての選手の検温を入場時に行い発熱がある場合は入場できない。
- ・ 発熱がなくても息苦しさや強い倦怠感・味覚嗅覚異常などがある場合は入場できない。

4、大会申込後に出場を辞退する学校（チーム）がでた場合の対応

- ・ 大会が開催された場合、参加費の返金は行わない。

5、学校（チーム）応援者・観客について

- ・ 大会の開催することを優先し、観戦者の安全を確保できる場合のみ観戦を認める。
- ・ 競技特性や役員の体制から十分な感染対策を講じられない場合は、無観客試合とする。
- ・ 観戦を認める場合でも、観戦者（保護者）の人数制限や関係者以外の観戦禁止を検討する。
- ・ 常時マスクを着用し所定の場所に分散して着席する。
- ・ 観戦中の声を出しての応援は禁止する。
- ・ 基本的な感染対策を徹底する。（手洗い、指先消毒、咳エチケット等）

6、専門部独自の感染症対策について

- ・ 参加申込時に大会参加承諾書を提出すること。
- ・ 確認シートに大会2週間前から必要事項を記入し大会当日の入場時、受付に提出すること。
- ・ 開会式は開始式とし時間短縮する。閉会式は中止又は表彰式を中心とし時間短縮する。
- ・ 監督・審判会議は紙面又は密を避け会議を行う。
- ・ 必ずマスクを着用して入場する。
- ・ 館内換気を徹底する。（競技間に必ず換気を行う。）
- ・ 利用施設のガイドラインに従って、各所に消毒用アルコールを設置する。
- ・ アリーナに入場前と退場時に必ず手洗いまたはアルコールによる指先消毒を行う。
- ・ 密を避けるため、男女とも更衣室を設ける。
- ・ ウォーミングアップ等は指定場所で行うこと。
- ・ 炭酸マグネシウムはできるだけ各校、個人が準備し持参すること。
- ・ あらかじめ観客席の数を減らし、座席の指定を行う。
- ・ 飲食は指定された場所で黙食する。ゴミは必ず持ち帰る。
- ・ 感染予防対策担当者を定め、感染対策の指揮をとる。
- ・ 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は主催者に速やかに報告する。
- ・ その他感染症関連または危機管理体制については、全国高等学校体育連盟体操専門部作成の全国高等学校総合体育大会（インターハイ）実施時における新型コロナウイルス感染拡大防止等に関する基本方針「-体操競技・新体操における対応策-」に準ずる。